

ブルーベ BKタイプ外部給油式セミドライ装置

目次

- 1 注意事項
- 2 装置概要
- 3 各部の名称
- 4 給油方法
- 5 使用方法



フジBC技研 株式会社

〒467-0851 名古屋市瑞穂区塩入町3-1

TEL:052-819-5411 FAX:052-819-5410

Ver.4.31 2018年11月

注意事項

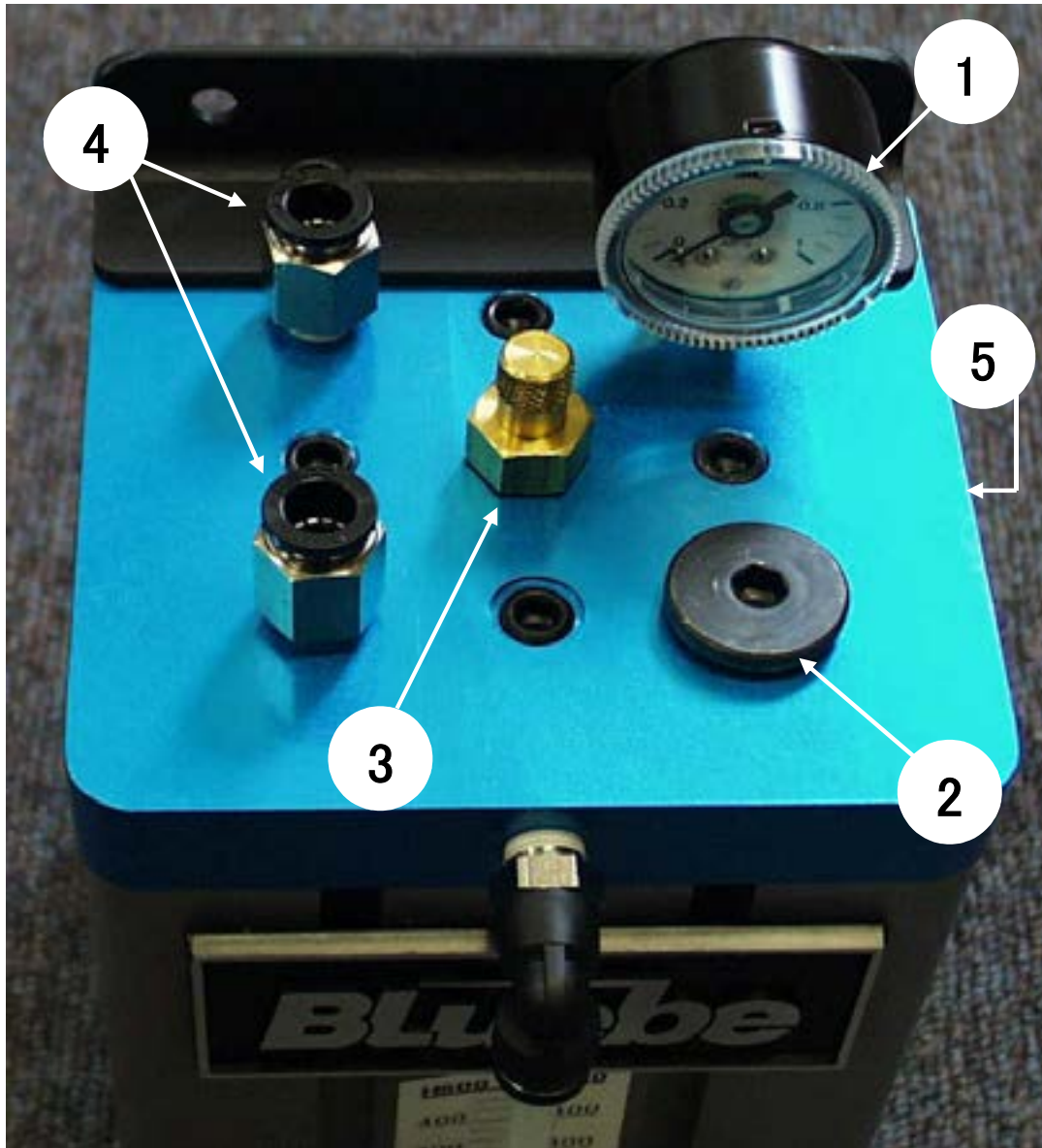
- 1 必ずブルーベ純正油剤LB10またはLB8をご使用下さい。他の油剤をご使用になりますと故障や破損の原因となり、人身事故など重大な事故を引き起こす可能性があります。
- 2 必ず垂直に取り付けて下さい。傾いているとミストが不安定になったり、BK2では2本のノズルのミスト量に大きな差が生じる原因になります。
- 3 納入後にノズルの変更をご希望の場合は、弊社営業担当者までお申し付け下さい。また弊社製給油機のノズルであってもBK以外の給油機のものをご使用になれません。
- 4 油面計の上限400mLを超えて給油しないで下さい。400mLを越えた状態で運転しますと、吐出量の異常や油剤の噴出を起こすおそれがあります。
誤って400mL以上に給油した場合は、5ページの「油剤を入れすぎてしまった場合」にしたがって油剤を抜いてください。
- 5 電磁弁によってBKのON/OFFを行う場合は、下記1)または2)の方法を取って下さい。
いずれかを取って頂かないと、電磁弁へミストが逆流して弁の故障に繋がるおそれがあります。
 - 1) 電磁弁は直動2方型をご使用下さい。排気ポートを有する弁ではミストの逆流が起こります。
 - 2) 事情により排気ポートを有する電磁弁を使用される場合は、BKと電磁弁の間に弁への逆流を防ぐ方向にチェック弁を設けて下さい。

装置概要



- ・油剤容量
最大 400mL
- ・ノズル
BK専用のノズルをご使用下さい。
- ・調整機能
ミストが濃過ぎた場合の調整バルブを設けています。
- ・供給エア
0.4Mpa 120L/min(ANR)以上の乾燥エアを供給して下さい。(200L/min推奨)
- ・指定油剤
ブルーベ純正油剤 LB10またはLB8。
- ・オプション
電磁弁、フィルターレギュレータ、本体固定用マグネット

各部の名称



- 1 装置内圧力計
- 2 給油口
- 3 ミスト調整バルブ
- 4 ミスト吐出口
付属のφ8チューブでノズルを接続
して下さい。
- 5 エア供給口 (Rc1/4)

製品によっては写真と一部が異なる場合がございます。

給油方法

- 1 給油口プラグを外す前に、装置内圧力計が0を指していることを確認して下さい。
- 2 BKは内部形状の影響で、注入した油量が油面計に表れるまでに多少の時間を要します。油面計の液面上昇具合に注意しながら、最大油量を超えないように給油して下さい。

※給油のための漏斗を付属しています。

※油剤を入れすぎてしまった場合

最大油量を超えてしまった場合は次の方法で油剤を抜くことができます。このときチューブの抜き差しは、チューブの折り曲げや継手内部のOリングの損傷が生じないように行って下さい。

- 1) 油面計チューブの上側をL字継手から抜く。
- 2) 下側のL字継手を回して油面計チューブを下へ向ける。

使用方法

BKは油剤を入れてエアを供給するとミストの吐出が始まります。

1 ミストの調節

- ① 0.4MPaの乾燥エアを供給し、ミスト調整バルブを左へ回して装置内圧力計が0.2MPaを指すように調節して下さい。このときに標準的なミスト濃度になります。
- ② ミストが濃すぎる場合は、調整バルブを更に回すとエアの割合が増えてミストは薄くなります。本装置は逆にミストを濃くすることはできません。
- ③ この操作によって供給エア圧が下がることがありますが、ミストを吐出している状態で供給エア圧が0.4MPaを維持するようにして下さい。

2 短いサイクルで吐出と停止を行う場合

吐出開始から装置内圧が0.2MPaに達するまでには、僅かですがタイムラグ(装置内圧の上昇時間)が生じます。このため、加工時間が短いなど1回のミスト吐出が数秒以下のケースでは、装置内圧が0.2MPaに達する前に吐出が終わることがあります。

このような条件ではミストの吐出が不十分または不安定になりがちですので、本機の立ち上がり時間を考慮して先行吐出を開始するなどの制御をお奨めします。